

熱海市土石流災害に対する中部地方整備局の対応について
【7月9日（金）16:00時点】

1. 中部地方整備局の体制

7月1日（木）	5時55分	注意体制
7月2日（金）	11時30分	警戒体制
7月3日（土）	14時00分～	非常体制

2. 現地支援の状況

(1) TEC-FORCE

7月9日（金）活動状況 全体35名

①リエゾン

以下、3カ所に職員を派遣し、

静岡県 7月3日（土）から3名派遣中

熱海市 7月3日（土）から1名、7月4日（日）から2名

7月6日（火）からは3名派遣中

②総括班（1班）

・7月3日（土）から4名派遣中

・TEC-FORCE各班の活動について、静岡県・熱海市と調整

静岡県熱海土木事務所からの情報収集

③ドローン調査班（1班）

・7月3日（土）からドローンマイスターを中心に4名派遣中

・7月4日（日）から全天候型ドローン等により現地調査を実施

④建設機械班（1班）

・7月3日（土）から1名派遣

・7月7日（水）から2名派遣中

・照明車等の災害対策車設置に関する現場調整を実施

⑤情報通信班（1班）

・7月6日（火）から1名派遣

・7月7日（水）から2名派遣中

・衛星通信車等の災害対策車設置に関する現場調整を実施

⑥砂防調査班（2班）

・7月3日（土）から8名派遣中

・被災箇所の現地調査を実施

⑦道路調査班（2班）

- ・7月7日（水）から6名派遣中
- ・土砂流出範囲の南北を2班に分けて、現地調査を実施

⑧港湾調査班（1班）

- ・7月3日（土）から2名派遣中
- ・港湾施設の損傷状況等を調査し、静岡県熱海土木事務所に報告
- ・7月5日（月）から3名派遣中
　　海面の浮遊物を中心に調査を実施

⑨災害対策車

- ・照明車5台、排水ポンプ車3台、衛星通信車1台、待機支援車1台
　　Car-SAT 1台
- ・7月3日（土）から現地に派遣
- ・7月4日（日）17時に土石流源頭部に照明車1台を設置
- ・7月6日（火）12時30分に土石流源頭部に衛星通信車1台を設置
- ・7月7日（水）Car-SAT（走行しながら映像配信ができる車体）1台を配置

（2）その他

- 一般社団法人静岡県建設業協会との災害協定に基づく土砂撤去等の支援
 - ・7月3日（土）土砂撤去作業支援について体制構築
- 一般社団法人建設電気技術協会との災害協定に基づく現場監視の支援
 - ・7月4日（日）中部地方整備局保有の監視カメラ4台の設置を指示
 - ・7月6日（火）監視カメラ4台（逢初川源頭部、逢初川左岸0.7k付近、逢初川右岸0.9k付近、135号逢初橋）を設置・監視を開始し、静岡県庁及び熱海市役所へ映像を配信。
　　静岡県庁へ4映像を配信
　　（逢初川源頭部、逢初川左岸0.7k付近、逢初川右岸0.9k付近、135号逢初橋）
 - 熱海市役所へ1映像を配信（4分割で4映像を配信）
　　（逢初川源頭部、逢初川左岸0.7k付近、逢初川右岸0.9k付近、135号逢初橋）

3. その他

- ・伊豆方面にお車でお越しになる方へ迂回のお願いをHPに掲載

ドローン調査班による現地調査



道路調査班による現地調査



ドローン操作・調査の様子

砂防調査班による打合せ



熱海土木事務所での打合せの様子

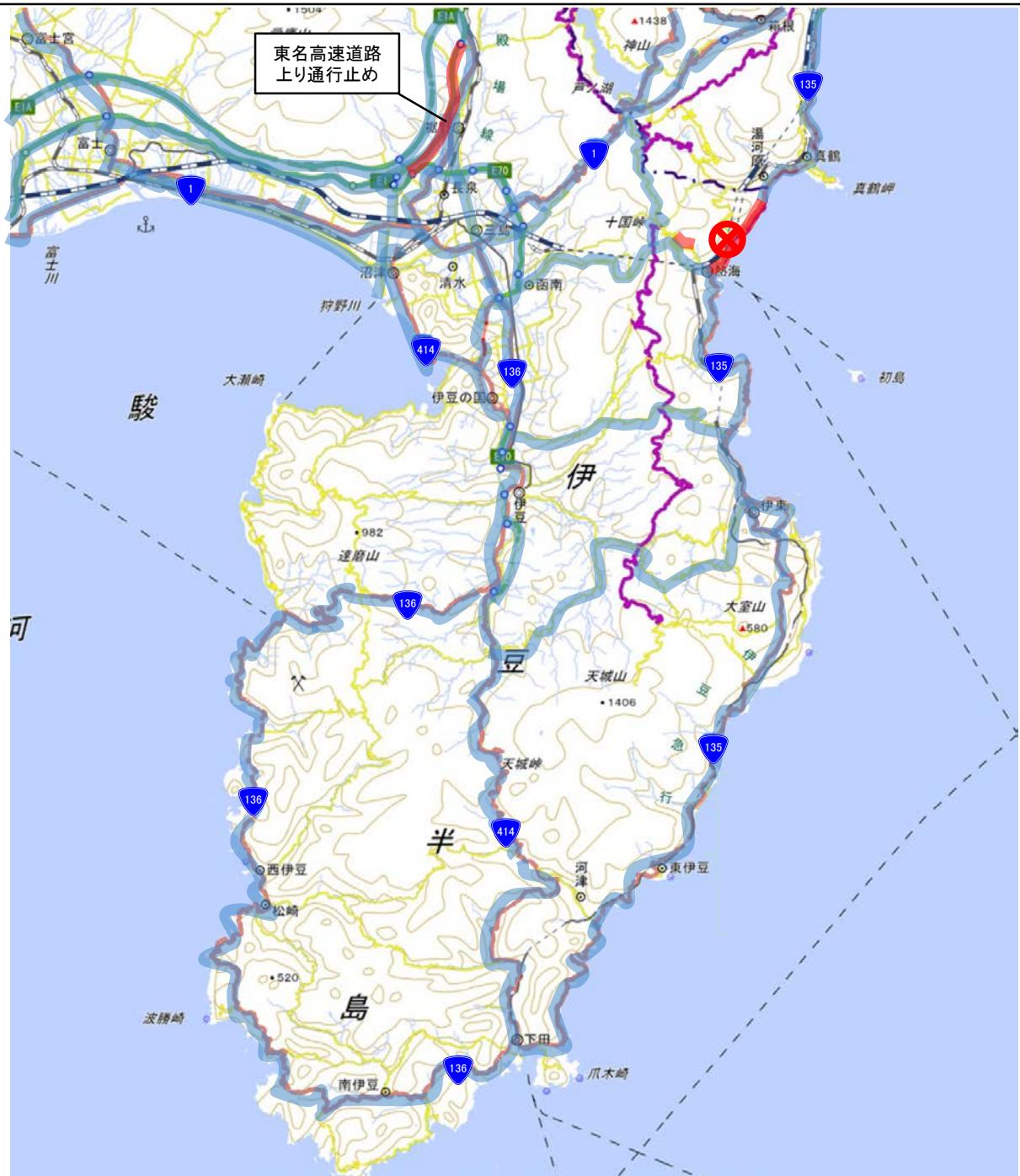
立ち入り禁止区域の現地確認の様子

静岡県東部通れるマップ

2021年7月7日(水)13:00

【お願い】

- ・被災地周辺は、緊急車両、工事車両が多く往来しておりますので、一般の通行は控えてください。
- 注)対象道路は、高速道路、一般国道および熱海市からの迂回路のみ。ETC2.0プローブデータ及び現地調査に基づいて作成。



通行可能区間	:	※ETC2.0プローブデータ(7/7 12:00~7/7 13:00)及び現地調査
通行不能区間	:	※道路管理者(国・県)調べ(7/7 13:00)
災害箇所	:	⊗

伊豆方面にお車でお越しになる方へ(迂回のお願い)



■ 東京方面からお越しの方は新東名の長泉沼津IC、名古屋方面からお越しの方は東名の沼津ICまたは新東名の長泉沼津ICから、伊豆縦貫道を経由し、国道136号・414号をご利用ください。

■ 小田原方面からお越しの方は、国道1号から、県道熱海箱根峠線または熱海函南線を経由し、伊豆スカイライン(有料)をご利用ください。

■ なお、被災地周辺は、緊急車両、工事車両が多く往来しておりますので、できる限り公共交通機関をご利用いただくようお願いします。

